

■津村紀美子 能役者。苦闘の末、装束無しの「安宅」が話題で、観世流シテ方初の女性師範も、なお苦闘の生涯。

つむらきみこ
教科書疑獄・1902＝ 兵庫県明石市で、津村真澄の四女に生まれる。母は旧家出身のゆき。本名しげ。呼び名君子。

日露戦争終・1905＝ 3歳：この頃までに、一家で上京、東京下谷区に住み、両親はネル綿布販売の津村商店{はりまや}を営む。
_16上の長姉静が謡曲と小鼓の師範、長兄京太郎はのちに劇作家京村、三姉千代はのちに日本画の鑄木清方の高弟青芽になるような環境に育ち、

アラキ°創刊・1908＝ 6歳：次姉が死去。

伊藤博文暗殺1909＝ 7歳：_謡曲を高木清三郎に習い始めるが、三姉千代の影響も受けて、絵を描く方に夢中。

韓国併合・・・1910＝ 8歳：この年、家業が傾き始め、

大逆事件判決1911＝ 9歳：

明治天皇没・1912＝10歳：この年、丸尾茂一家4人が上京し、翌年まで同居。

大正政変・・・1913＝11歳：この年、丸尾茂に金を貸し、品物も持って行かれて、津村商店は苦境に至る。

21ヶ条要求・1915＝13歳：_謡曲本を読み始め能の文章に感動、日本橋にいた観世流シテ方山階徳次郎に師事、同時に、各流の舞台を見て歩き、長姉静から小鼓を、清水正徳から太鼓も習い始める。

民本主義・・・1916＝14歳：この年、長兄京太郎が病状悪化して転地療養することになって、_家業は行き詰まり、

ロシア革命・1917＝15歳：_店の縮小で小石川区に転居となったため、観世流シテ方大概十三に師事代え、

本格政党内閣1918＝16歳：次兄が死去。_三姉千代と、兵庫県明石二見の尾上家別荘に行き、姉が襖絵などで稼ぐ一方、自らは近所の素封家の娘を集めて謡と舞を教えながら、謡曲暗記、滞在中の謡曲家にも師事。

大暴落・・・1920＝18歳：帰京し、

原敬首相暗殺1921＝19歳：_*観世華雪に師事しながら、自らも弟子を取って教え始め、窮状の実家を助けるべく、朝鮮にも渡って弟子を増やし、朝鮮京城の日報ホールで「羽衣」で初舞台、日報主催の会で次々演じたことが東京に知られ破門。以後も、君子の才能買う野島信・清水正徳・大倉六郎・松村隆司らにワキ方・大鼓・小鼓習い続ける。

関東大震災 1923＝21歳：三姉千代が結核で死去、長姉静も癌で死去(自殺ともいわれる)するという悲劇。

護憲三派圧勝1924＝22歳：豊玉郡代々幡(初台)に敷地を借り、一家で移住。_京城で君子主宰{緑泉会}が発足、

治安維持法・1925＝23歳：_東京の弟子も加わり、

円本時代始・1926＝24歳：_年1回がやっとという状態ながら、定期演能を始める。自らは第一回で「三輪」、

金融恐慌・・・1927＝25歳：_第二回に「融」を演じる。この頃、15歳の森田流笛方の寺井敬之と出会う。

共産党事件・1928＝26歳：母が死去。初台の自宅が半焼。

世界恐慌・・・1929＝27歳：_一人千駄ヶ谷の中村男爵の宅地に移り、住まいとあわせて稽古場も作る。

満州事変・・・1931＝29歳：この年、東京音楽学校選科として、観世左近を講師に、男子のみ対象の能楽科が設置される。

五一五事件・1932＝30歳：父が死去。_一家の柱として稼ぐべく、朝鮮での教授を続け、玄人の協力得にくい定期演能会を成立させるべく、自らワキ方・囃子方まで養成し始め、橋岡久太郎・安福春雄らの助力得ながら、実力も養う。

帝人疑獄事件1934＝32歳：この年、観世左近の進言で、東京音楽学校選科能楽専修生に女子の入学が許される。

芥川直木賞始1935＝33歳：_札幌で「隅田川」を演能。能評家坂元雪鳥と初めて会い、以後、励まされ、

二二六事件・1936＝34歳：_一門の弟子で演能できる体制を整え、「花筐」「弱法師」「船弁慶」「班女」と、次々演じる。

日中戦争始・1937＝35歳：長兄京太郎が死去。_「八島」を演じ、坂元雪鳥に賞賛される。

健保+総動員 1938＝36歳：

第二次大戦始1939＝37歳：_*東京で「安宅」を初演、装束をつけず袴能で上演し評判となり、処遇に困った能楽界は、大概十三の門下にして正式に復帰させ、観世流シテ方の女性師範第1号となる。

大政翼賛会・1940＝38歳：_観世流復帰記念の緑泉会公演で「狸々」を舞う。相変わらず世間の女流への目は冷たいなか、免許受け、

日米開戦・・・1941＝39歳：_武蔵境中森宅に稽古場開く。結婚否定してきたが、自宅に下宿した中森の親類大内正美を寵愛、

・・・1942＝40歳：_正美が肺結核だったこともあって、多くの弟子が辞めて行く。

創価学会検挙1943＝41歳：「石橋」を上演、

年金+総武装 1944＝42歳：正美と結婚するも、正美は応召、自らは寮母として、小学生引連れ、富山の寺に疎開。

敗戦・・・1945＝43歳：疎開先から戻るも、千駄ヶ谷の家は焼失、武蔵境中森宅に寄宿し、稽古再開。

新憲法施行・1947＝45歳：_第三十回緑泉会記念公演では、高い会費とって、「船弁慶」を演じるまでになる。小金井に転居。

極東裁判決・1948＝46歳：_女流師範を許されたのを契機に、紀三子と改名。ついに「道成寺」を演じるも失敗したが、

朝鮮戦争始・1950＝48歳：_再挑戦した「道成寺」は大成功となる。肺結核に冒され、病臥。日蓮宗に入る。新作能「金野」脱稿。

独立回復・・・1951＝49歳：

_以後、7年間に及ぶ闘病生活の間に、新曲10曲余を作り、緑泉会は正美らが支える。

国連加盟・・・1956＝54歳：_*緑泉会別会で、「玄象」を演じて再起。

なべ底不況・1957＝55歳：熱田神宮で、三流婦人能楽鑑賞会が開かれ、「熊野」を演じる。

インスタメン・1958＝56歳：緑泉会三十周年記念大会で、「砧」を演じる。

美智子妃・・・1959＝57歳：この年、観世華雪が死去。

安保闘争・・・1960＝58歳：

タイタイ病始・1961＝59歳：「花筐」を演じる。一橋大学祭りで指導した学生演能を見た一橋生藤村禮次郎が入門。

TV宇宙中継始1963＝61歳：禮次郎が内弟子となり津村家に入る。

東京リビ°ック 1964＝62歳：「卒都婆小町」「国栖」。

大学紛争始・1965＝63歳：「弱法師」。

いざなぎ景気1966＝64歳：新作「法難」を演じる。

美濃部都知事1967＝65歳：禮次郎を養子とし、緑泉会後継者に指定。市の依頼で能楽教室開設。NHKラジオに出演。

震ヶ関ビ°ル・1968＝66歳：「放下僧」初演。新作「文がら」を演じる。

全共闘ビ°ク・1969＝67歳：「藤戸」「砧」「三輪」。

トリ°ック・・・1971＝69歳：女性で初めて、「鵬鵲小町」を演じる。

日中国交回復1972＝70歳：「恋重荷」。

石油ショック1973＝71歳：最後の新作「かぐや姫」。

角栄金脈辞任1974＝72歳：_*仕舞「山姥」を舞ったのを最後に、過労で病臥、心筋梗塞のため、没した。

金森敦子「女流誕生」、「日本の女性」、